

旅館・民宿・民泊宿		
1	藤乙(旅館)	57-3009
2	松代屋(旅館)	57-3022
3	大吉(民宿)	57-2595
4	下丁子屋(民泊) 090-3956-1868	
5	下嵯峨屋(民宿)	57-3124
6	波奈屋(旅館)	57-3106
7	まるや(民宿)	57-3117
8	つたむらや(民宿)	57-3235
9	かめやま(民宿)	57-3187
10	こおしんづか(民宿) 57-3029	
その他他		
39	郷原酒店	57-3021
40	松下商店(食料品)	57-3041
41	尾張屋(OBARAJUN) 090-7319-0222	
42	奥ジャパン	24-0636
43	和(なごみ)～きもの～	
44	アトリエショップ風雅	57-4000
味わい所味		
11	やまぎり(五平餅)	57-3134
12	俵屋里久(そば)	57-2522
13	糸びや(甘味処)	57-3054
14	えのき坂満寿庵(菓子処)	57-4111
15	鈴屋(甘味処)	57-3891
16	わちのや(おやき) 090-1458-7496	
17	しんや(五平餅)	57-3221
18	音吉(山家料理)	57-3600
19	金剛屋(そば)	57-3116
20	木ノ花屋(五平餅)	57-3228
21	白木屋(喫茶) 050-5373-5379	
22	おもて(五平餅)	57-2682
23	好日珈琲(喫茶)	24-0287
24	中華そば 三殿社中 080-7838-3608	
お土産・木工製品品		
25	田丸屋	57-3275
26	槌屋	57-3175
27	岩井屋	57-3008
28	永徳屋	57-3010
29	伊勢屋	57-3112
30	新岩井屋	57-3538
31	丸田屋	57-3434

～木曾路はすべて山の中である～

中山道ハイキングコース

国指定史跡(信濃路自然歩道)

妻籠～南木曾駅～天白公園

ハイキングコース

季節を楽しむ(徒歩1.0時間)

妻籠から中山道を歩きましょう。
歴史の橋「桃介橋」を渡りきるとそこはこのハイキングの終点「ミツバツツジ」大乱舞！
(4月上旬～中旬)

馬籠～妻籠

ハイキングコース

お元気コース(徒歩2.5時間～3時間)

全長9Kmゆっくり3時間かけて歩いてみましょう。
馬籠～馬籠峠は急な短い坂(2.5km)
妻籠～馬籠峠はゆるやかな長い坂(6.5km)

省エネコース(徒歩1.5時間)

馬籠(妻籠)から峠までバスかタクシーで行って、下り坂のみ歩いてみましょう。
峠～妻籠はゆるやかなスロープをゆっくり下って1.5時間。

完歩証明書

楽しい旅の記念に是非どうぞ

妻籠宿、馬籠宿各案内所にて、中山道完歩証明書1枚300円で販売。また、各宿泊施設にて妻籠⇄馬籠ハイキング券をお受け取りになり、観光案内所(馬籠・妻籠のどちらでも)にお持ち頂くと、桧(ヒノキ)で作られた完歩証明書1枚300円を150円でお求めいただけます。

手荷物運搬サービス

身軽になって歴史の道を歩きましょう

【受付期間】3月20日～11月30日まで毎日
【受付時間】午前8時30分～11時30分
【到着時間】午後1時
【料 金】手荷物一個につき1,000円
【取 扱 所】●妻籠観光案内所 TEL.0264-57-3123
●大妻籠の荷物は各宿で受付
●馬籠宿観光案内所 TEL.0573-69-2336

※運行、臨時便についてはお問い合わせください。

妻籠のまつり

和智埜神社祭礼

【七月二十三日・二十四日】

妻籠宿の鎮守様の祭り。
御神輿が「げー」にもさよな「さよなさよな」の掛け声で威勢良く宿場内を練り歩きます。

ひなまつり【二月下旬～四月三日】
端午の節句【四月中旬～六月五日】
七夕まつり【七月下旬～八月七日】
妻籠宿内ふれあい館に於いて、季節ごとに風情ある催しが楽しめます。

文化文政風俗絵巻之行列

【十月二十三日】
150名前後の人々が、宿場役人・武士・浪人・鳥追い女・無宿・早駕籠・自明し・飛脚・虚無僧・女旅・男旅などに扮して、文化文政時代に中山道を歩いたであろう旅人の姿を再現します。

妻籠のまち

白木改番所跡

寛延2年(1749年)から明治2年まで、「木曾五木」(ひのき・さわら・あすなろ・こうやまき・ねずこ)をはじめとする伐採禁止木を取り締まる番所がありました。
いちこくとちたてばちや
一石板立場茶屋 無料休憩所
江戸中期の茶屋。湯茶のサービスがあります。

こやすかんのん 子安観音

昔からこの村付近に住む者は難産しないと言われており、信仰の対象として子安観音が祀られている。

安全対策の熊よけの鈴

妻籠・馬籠観光案内所で貸し出しもしています

木曾五木を使う地元工芸品

この社は倉科の霊を鎮めるために祀ったものです

おたき・めたき 男滝・女滝

吉川英治の「宮本武蔵」の舞台となった滝です。また、滝壺に金の鶏が舞い込んだという倉科様伝説が伝わっています。

くらしなせいいしゃ 倉科祖霊社

天正14年(1586年)、松本城主 小笠原貞慶の重臣倉科七郎左衛門朝軌は、この辺りで地元の土豪たちに襲われ、従者30余人とともに全滅させられ、その霊を祀っています。

つまこじょうあと 妻籠城跡(長野県史跡)

戦国時代より木曾の南の押さえとして重要であった。小牧・長久手の戦いの折、徳川軍に対して難攻不落を誇ったと言われている。

うわくぼのいちりづか 上久保の一里塚

江戸時代から七十八里目の塚。三月には枝垂梅がみごとです。

凡例

トイレ

バス停

中山道

標高/m

妻籠宿 430m

大妻籠

男滝・女滝

馬籠峠 790m

馬籠宿 620m

6km

2km

重要伝統的建造物群保存地区

妻籠宿案内図

中山道つまこじょうくあんないず

江戸と京を結ぶ中山道は、
山深い木曾路を通ることから
木曾街道とも呼ばれていました。
中山道六十九次のうち江戸から数えて
四十二番目となる妻籠宿は、
中山道と伊那街道が交叉する
交通の要衝として古くから
賑わいをみせていました。

町並み保存の原点

お問い合わせ

一般社団法人 南木曾町観光協会
(妻籠観光案内所)

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2196-1
TEL 0264-57-2727 FAX 0264-57-4036
TEL 0264-57-3123(観光案内専用)

(一社)南木曾町観光協会ホームページアドレス
<https://nagiso.jp/>

妻籠観光協会ホームページアドレス
<https://tsumago.jp/>

南木曾町観光協会HP

妻籠観光協会HP

南木曾町HP

2023.03-80.000

妻籠宿

町並み保存運動

明治になり鉄道や道路が木曽川沿いに造られ、宿場としての機能を失った妻籠宿は衰退の一途をたどり、やがて昭和四十年代になり集落保存と景観が修復され、妻籠宿の町並みが見直されました。妻籠の人たちは町並みを守るために家や土地を「売らない・貸さない・こわさない」を中心とする住民憲章をつくり、ここで生活しながら、江戸時代の町並みという貴重な財産を後世に伝えています。

寺下の町並み

日本で最初に宿場保存事業が行われた寺下地区は、妻籠宿保存の原点とも言うべき町並みです。

延命地蔵

文化10年(1813年)、光徳寺住職・中外和尚が、地蔵尊像の浮かび上がっている岩を蘭川(あらさがわ)から運んできて安置したものです。

石仏「寒山拾得」像

国内唯一とされる、石仏「寒山拾得」像。石に掘られた双体像は他に類例がない。

光徳寺

石垣を築き、白壁をめぐらせた気品ある寺で、明応9年(1500年)に開山されたと言われています。

石仏「寒山拾得」像



長野県天然記念物 ぎんもくせい

神官・矢崎氏の庭木として、代々愛育されてきた巨木です。(県宝)

妻籠宿ふれあい館 (無料休憩所)

和智埜神社

妻籠町並み交流センター

(公財) 妻籠を愛する会
コインロッカー

上嵯峨屋

昭和44年の解体復元によって18世紀中期の木賃宿(きちんやど)であることがわかりました。

妻籠宿本陣 (南木曾町博物館)

妻籠宿本陣には島崎氏が任命され、明治に至るまで本陣、庄屋を兼ね務めました。島崎藤村の母の生家で、次兄広助が養子にきています。平成7年4月に復原されました。



口留番所跡

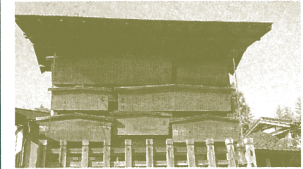
17世紀半ばまで関所が置かれていました。

鯉岩

大きな鯉の形をした岩で中山道三名石の1つでしたが、明治24年の濃尾大地震で、形が変ってしまいました。

高札場

今日でいう「官報掲示板」で、幕府が庶民に対し、禁制や法度等を示したものです。



熊谷家住宅

19世紀初頭に建てられた長屋の一部。左右の半分ずつが一軒の家として使用されていました。

至南木曾駅 (三留野宿)



(徒歩約15分)

妻籠城跡



木曽川

国道19号

日本文学史上大きな業績を残した文学者

島崎藤村

浪漫派詩人として『若菜集』などを刊行。さらに小説家として、『破戒』『春』などで代表的な自然主義作家となった。ほかに、日本自然主義文学の到達点とされる『家』、父をモデルとした歴史小説『夜明け前』など。

つまごしゅくあんないにん 妻籠宿案内人

【ガイド料】案内人1人につき2,000円

◆お問い合わせのうえ御利用ください。
【申し込み先】
(公財)妻籠を愛する会内、妻籠宿案内人の会
Tel, Fax. 0264(57)3513

※原則として10日前までに
お申し込み下さい。

脇本陣奥谷

代々脇本陣・問屋を務めた家で、現在の建物は明治10年に建て替えたものです。また、島崎藤村の初恋の人と言われる「ゆふ」さんの嫁ぎ先でもあります。国の「重要文化財」に指定されています。歴史資料館では、南木曾町や木曽路の歴史、町並み保存運動、全国の重要伝統的建造物群保存地区の町並みなどの資料を模型や映像を用いて分かりやすく展示しています。



南木曾町博物館

TEL. 0264-57-3322

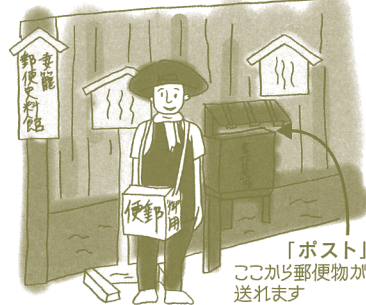
【妻籠宿本陣】
大人・300円 小人・150円
【脇本陣奥谷・歴史資料館】
大人・600円 小人・300円
【共通券】 大人・700円 小人・350円
開館時間/9:00~17:00(16:45入館制限)
休 日/年末年始(12/29~1/1)

下嵯峨屋

当初、長屋であったものです。妻籠宿における庶民の住居を代表する形式をとどめています。

郵便史料館 (妻籠郵便局に併設)

島崎藤村『夜明け前』にも開局当時の様子が描かれています。郵便に関する資料の展示があります。(土・日・祝休館)



「ポスト」
ここから郵便物が
送れます

石柱道標

妻籠は、中山道と飯田街道の分岐点として栄えた所で、この碑は明治14年(1881年)に、飯田・近江・地元の人によって建てられたものです。



藤原家住宅

17世紀半ばの古い建築で長野県宝に指定されています。



大妻籠

下図へ

至馬籠宿

凡例

宿 旅館・民宿 品 お土産・木工製品
味 味わい所 他 その他

トイレ バス停 中山道

10:00~16:00
車両進入禁止

18音吉味

田島橋

散策ルート

いんきよ

第3駐車場

橋場

至馬籠宿

至馬籠宿

至馬籠宿

至馬籠宿

至馬籠宿

至馬籠宿